

高知市漁業振興審議会 第3回会議【議事概要】

- 1 日 時：令和5年2月27日（月）16時から17時
- 2 場 所：高知市役所第二庁舎3階 311会議室
- 3 出席者：【委 員】森岡会長，澳本副会長，前田委員，山本委員，久保委員，竹内委員，
山地委員，織田委員
【高知市】高知市農林水産部 弘瀬部長，宮地副部長
（事務局）農林水産課 島崎課長，伊勢谷課長補佐，岡内係長，大黒主事

4 議 事

(1) パブリック・コメントの結果について（説明：事務局）

【委員】

意見2件目の魚価形成力の強化に関して，以前構想があった「道の駅」のような，直販所のようなものがあれば，未利用魚を販売する拠点となり，6次産業化につながるのではと考えるが，高知市としての考えをお聞きたい。

→【事務局】

未利用魚の活用については，漁業者からの声もあり，令和5年度以降の漁業改良協議会の取組テーマとしており，魚種や漁獲時期などの現状を把握したうえで，漁業者の声に基づき検討していきたい。未利用魚が一定量確保できるようであれば，直販についてもチャレンジができるのではと考えている。

【委員】

意見5件目の食料自給率について，補足をお願いしたい。

→【事務局】

高知市では，消費者の嗜好に応じ，県内外の様々な水産物が流通している。

高知市漁業の主要漁獲魚種であるドロマを例にとっても，流通先は県内外に及んでいくことから，高知市単独で水産物の自給率向上に関する数値目標を設定することは困難と考えている。

【委員】

国の水産基本計画に水産物の自給率向上が掲げられているが，高知市の漁業形態を踏まえると，高知市単独で自給率向上の目標を設定することは現実的ではないと考える。

全体として，自給率の向上を目指していくべきという意見の趣旨であると考えてため，高知市産の農林水産物の広報や，地産地消の推進に取り組むことで自給率の向上に寄与していく方針としているもの。

→【事務局】

自給率向上の数値目標を設定することは困難であるが，魚食普及や地産地消の推進に引き続き取り組んでいく。

(2) 第10次高知市漁業基本計画（案）について（説明：事務局）

【委員】

川から海へ流れ込む栄養素は、海の豊かさを支えるうえで非常に重要である。計画には、鏡川の河川環境の保全を図る取組が登載されていないが、市の考え方はどうか。

→【事務局】

環境部所管の鏡川清流保全条例の中で、事業者の排水基準を定めているほか、環境基本計画では、鏡川の良い水質や流域の特性に応じた豊かな自然環境の保全に取り組むことを定めるなど、漁業基本計画とは別に、鏡川の河川環境を守る取組を実践しているところである。

【森岡会長】

パブリック・コメントを踏まえて文言を修正した、今回の計画案を答申することとして
よいか。（出席委員一同、異議なし）

(3) 市長への答申式について（説明：事務局）

【委員】

第9次計画の答申の際、どのような意見交換がされたか記録があればお聞きしたい。

→【事務局】

特に記録はないが、現場で活動されている皆様、特に漁業者の方々は厳しい漁業経営の現状にあることなどを市長にお伝えいただき、意見交換していただけたらと考える。

また県からは、令和5年度の漁業振興施策でトピックスがあれば、ご紹介いただけるとありがたい。